

中国十大品牌教育集团 中国十佳网络教育机构

- | | |
|--|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 上市公司 实力雄厚 品牌保证 | <input checked="" type="checkbox"/> 权威师资阵容 强大教学团队 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 历次学员极高考通过率 辅导效果有保证 | <input checked="" type="checkbox"/> 辅导紧跟命题 考点一网打尽 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 辅导名师亲自编写习题与模拟试题 直击考试精髓 | <input checked="" type="checkbox"/> 专家 24 小时在线答疑 疑难问题迎刃而解 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 资讯、辅导、资料、答疑 全程一站式服务 | <input checked="" type="checkbox"/> 随报随学 反复听课 足不出户尽享优质服务 |

开设班次：（请点击相应班次查看班次介绍）

基础班	串讲班	精品班	套餐	实验班	高等数学预备班	英语零起点班
-----	-----	-----	----	-----	---------	--------

网校推荐课程：

思想道德修养与法律基础	马克思主义基本原理概论	大学语文	中国近现代史纲要
经济法概论（财经类）	英语（一）	英语（二）	线性代数（经管类）
高等数学（工专）	高等数学（一）	护理学导论	政治经济学（财经类）
概率论与数理统计（经管类）	计算机应用基础	毛泽东思想、邓小平理论和“三个代表”重要思想概论	

[更多辅导专业及课程>>](#)

[课程试听>>](#)

[我要报名>>](#)

绝密 ★ 考试结束前

浙江省 2014 年 4 月高等教育自学考试

日本文学选读试题

课程代码:00612

请考生按规定用笔将所有试题的答案涂、写在答题纸上。

选择题部分

注意事项:

1. 答题前,考生务必将自己的考试课程名称、姓名、准考证号用黑色字迹的签字笔或钢笔填写在答题纸规定的位置上。

2. 每小题选出答案后,用 2B 铅笔把答题纸上对应题目的答案标号涂黑。如需改动,用橡皮擦干净后,再选涂其他答案标号。不能答在试题卷上。

一. 次の文の____の部分に入れるのに最も適切なものを、A・B・C・D から一つ選びなさい。(2点×10=20点)

- 「枕草子」の属する文学ジャンルは_____である。
A 説話 B 歌集 C 随筆 D 物語
- 夏目漱石の「_____」は「上 先生と私」「中 両親と私」「下 先生と遺書」の三部から成り立っている。
A 坊ちゃん B 三四郎 C ころも D それから
- 「徒然草」は_____の随筆集である。
A 松尾芭蕉 B 吉田兼好 C 鴨長明 D 紀貫之
- 「_____」の歌風の特徴は、傾向の面から見ると、素朴・率直・写實的・男性的・現實的などがあげられる。
A 万葉集 B 古今集 C 新古今集 D 千載集
- 瀬戸内晴美は女流作家で、昭和 48 年に、中尊寺で得度受戒、仏子号は_____である。
A 慈遍 B 慈静 C 寂静 D 寂聴
- 井上靖は中国大陸や西域を題材にした_____「楼蘭」「敦煌」など書いた。
A 「天平の甍」 B 「風林火山」 C 「知魚楽」 D 「風たちぬ」
- 療養先の城の崎温泉で小動物の生と死をみつめ、命のありようを知る。この心境小説の名作として後世に高く評価されている作者は_____である。
A 川端康成 B 井上靖 C 志賀直哉 D 夏目漱石

8. 「古池や蛙飛び込む水の音」という芭蕉の有名な俳句がある。この俳句の主役は_____である。
A 古池 B 蛙 C 水 D 音
9. 「羅生門」は_____末期の京都を舞台に、極限に追いつめられた人間の心理を描く小説である。
A 平安時代 B 奈良時代 C 鎌倉時代 D 江戸時代
10. 「土佐日記」の作者は_____である。
A 鴨長明 B 松尾芭蕉 C 吉田兼好 D 紀貫之

二. 次の____の言葉の解釈として、最も適当なものを、A・B・C・Dの中から一つ選びなさい。
(1点×10=10点)

11. 甲府へ行って来て、二、三日、さすがに私はぼんやりして、仕事をする気もおこらずに、机の前に座って、取り留めのない落書きをしながら、……
A はっきりしないさま B 物事があいまいであるさま
C 何もせず活気がないさま D 気のきかないさま
12. 二人で黙って手を取り合って、お互いになるだけ目も合わせないようにしている。
A できるだけ B まさしく C かならず D ぜひ
13. 父親の達者なうちによく始末をつけてもらっておかないといけない。
A あとで面倒なことが起きないように物事の決まりをつけること
B 無駄遣いしないこと
C 主として悪い状態についていう結果
D 物事の始めから終わりまでの事情
14. 「もう店の戸を引き寄せておきな。」と主人は怒鳴って、舌打ちをして「また降って来やあがった」と独り言のようにつぶやいた。
A 不愉快な気持ちを表す動作 B 美味なものを味わった時の動作
C 悔しがる時の動作 D 犬、猫を呼ぶ時などにする動作
15. 暗い一筋町がひっそりとしてしまった。
A 動くものがなく物音のしないさま B 控えめに物事が行われるさま
C 細くて品のいいさま D すらりとしているさま
16. 僕らの小学校時代の同級生などはその後何かの交渉が続かなければ、名前も顔も忘れてしまうのが普通です。
A 掛け合うこと B 釣り合うこと C 関わりあうこと D 押し合うこと
17. 熱っぽい潤んだ目と、じつとりと汗ばむような肌で、あえぐようにものを言う彼女にはなるほどそんな気配があった
A 苦しそうに息をする B 不調に苦しむ
C 大声で叫ぶ D 悲しむ

18. あまりにも異様なその慟哭に、私は思わず立ち止まって、凝視した。
A しくしく泣く B めそめそなく C ぎゃあぎゃあなく D さめざめ泣く
19. あひるが石が飛んでくるのでびっくりし、首を伸ばしてきよろきよろとした。
A あわてたりしてあたりを落ち着きなく見回すさま
B 何かを見つけようとして、せわしくあちこちに目を向けるさま
C めずらしそうにあちこちに目を向けるさま
D 目を鋭く光らせるさま
20. 小島鳥水という人の日本山水論にも「山のすね者は多く、この土に仙遊するがごとし」とあった。
A ひねくれ者 B すなおな者 C げんきな者 D けなげな者

非选择题部分

注意事项：

用黑色字迹的签字笔或钢笔将答案写在答题纸上，不能答在试题卷上。

三. 次の文の____の漢字の読み方をひらがなで書きなさい。

(1点×10=10点)

21. 決して自分の皮膚の中だけで生きているのではない。
22. 道だけの構図で描けるものだろうかと不安であった。
23. とたんに女たちは泣きやみ、私をきっと睨んだ。
24. 今日で最後だという、悲愴な気持ちが薄れた。
25. この能力は養い育てようとしなければ衰弱してしまうことを知っている人は少ない。
26. 凡庸な耳ではとうてい聞き取ることができない。
27. こういう事情の下では、物理学者の考え方は上述の両極端のどちらかに偏りやすい。
28. 焼跡の中の、そういった残骸にまぎれて、一人の子供が、うずくまっていました。
29. けっして屈服した表情や態度を示したくなかった。
30. 滴が垂れるという程度ではない。

四. 次の1から3までの文章を読んで、それぞれの問いに答えなさい。

…… 前略 ……

井伏氏は、仕事をしておられた。私は、井伏氏の許しを得て、当分その茶屋に落ちつくことになつて、それから、毎日、いやでも富士と真正面から、向き合っていないければならなくなった。この峠は、甲府から東海道に出る鎌倉往還のかなめに当つていて、北面富士の代表観望台であると言われ、ここから見た富士は、昔から富士三景の一つに数

えられているのだそうであるが、私は、あまり好かなかった。好かないばかりか、軽蔑さえした。あまりに、おあつらい向きの富士である。真ん中に富士があつて、その下に河口湖が白く寒々と広がり、近景の山々がその両袖にひっそり蹲つて湖を抱きかかえるようにしている。私は、一目見て、狼狽し、顔を赤らめた。これは、まるで、風呂屋のペンキ画だ。芝居の書き割りだ。どうにも注文どおりの景色で、私は、恥ずかしくてならなかった。

私が、その峠の茶屋へ来て二、三日経って、井伏氏の仕事も一段落ついて、或る晴れた午後、私たちは三ツ峠へ登った。三ツ峠、海拔千七百米。御坂峠より、少し高い。急坂を這うようにしてよじ登り、一時間ほどにして三ツ峠頂上に達する……

……とかくして頂上についたのであるが、急に濃い霧が吹き流れて来て、頂上のパノラマ台という、断崖の縁に立ってみても、いっこうに眺望がきかない。何も見えない。井伏氏は、濃い霧の底、岩に腰をおろし、①。いかにも、つまらなさそうであった。パノラマ台には、茶店が三軒ならんで立っている。そのうちの一軒、老爺と老婆と二人きりで経営している地味な一軒を選んで、そこで熱い茶を呑んだ。茶店の老婆は気の毒がり、本当に生憎の霧で、もう少し経ったら霧も晴れると思ひますが、富士は、ほんのすぐそこに、くっきり見えます、と言ひ、茶店の奥から富士の大きい写真を持ち出し、崖の端に立つてその写真を両手で高く掲示して、ちょうどこの辺に、このとおりに、こんなに大きく、こんなにはっきり、このとおりに見えます、と懸命に註釈するのである。私たちは、番茶をすすりながら、その富士を眺めて、笑った。いい富士を見た。霧の深いのを、残念にも思わなかった。

その翌々日であったろうか、井伏氏は、御坂峠を引きあげることになって、私も甲府までお伴した。甲府で私は、或る娘さんと見合いすることになっていた。井伏氏に連れられて甲府の町外れの、その娘さんのお家へお伺ひした。井伏氏は、無雑作な登山服姿である。私は、角帯に、夏羽織を着ていた。娘さんの家のお庭には、薔薇がたくさん植えられていた。母堂に迎えられて客間に通され、挨拶して、そのうちに娘さんも出て来て、私は、娘さんの顔を見なかった。井伏氏と母堂とは、大人同士の、よもやまの話をして、ふと、井伏氏が、

「おや、富士」と呟いて、私の背後の長押を見上げた。私も、体を捻ぢ曲げて、後ろの長押を見上げた。富士山頂大噴火口の鳥瞰写真が、額縁にいれられて、かけられていた。真っ白い睡蓮の花に似ていた。私は、それを見届け、また、ゆつくり体を捻ぢ戻すとき、娘さんを、ちらと見た。決めた。多少の困難があつても、この人と結婚したいものだと思った。②あの富士は、ありがたかった。

……後略……

「富嶽百景」より

問い 31. 「富嶽百景」の作者は誰か。名前を書きなさい。 (2 点×2=4 点)

(漢字と読み方。例：^{たなか いちろう}田中一郎)

問い 32. 作者は御坂峠の茶屋ではじめて富士と向かい合った時、富士に対する印象はどうか。文中から抜き出さない。(4点)

問い 33. 「富嶽百景」には作者が井伏鱒二氏と三ツ峠に登った際に、頂上でのあるエピソードが ① に書かれています。そのエピソードとは次のどれか。選びなさい。(2点)

- A 作者に対するグチを長々と言い始めた
- B 下手な歌を歌った
- C ゆっくり煙草を吸いながら、放屁なされた
- D あくびをした

問い 34. 傍線②あの富士とは次のどれか。選びなさい。(2点)

- A 縁側から見えた富士
- B 写真の中の富士
- C 毎日正面から向かい合っている富士
- D 霧の中の富士

問い 35. なぜ、作者は傍線部②あの富士は、ありがたかったと思ったのか。その理由を述べなさい。(4点)

問い 36. 「富嶽百景」には「富士には_____がよく似合う」という名句がある。3776メートルの富士の山と、立派に対峙している植物は次のどれか。選びなさい。(2点)

- A 罌粟
- B 月見草
- C 桜
- D 菜の花

…… 前略 ……

それから二、三日経った日の午後、机代わりに出したままの火のないこたつで手紙を書いていると、突然窓の外に激しい水音が起った。遂に蛇口が破裂して水の激しく噴き上げる光景が静かに頭をよぎった。慌てて立ち上ろうとしたはずみに腰がぎくりと落ちて激痛が走った。前にも腰を痛めて動けなくなったことのある静子は、畳の上に横たわったまま息を殺して痛みの去るのを待った。独り暮らしの今の生活で立つも坐るも出来なくなったらそれこそ動きがとれない。それみたことか、と尊彦に言われるのは眼に見えている。しばらく休んだ後、額に冷汗を滲ませながらそろそろ足を曲げてみた。

…… 中略 ……

腰のあたりにうっ陶しい気分が残りしはしたが痛みはその時だけでおさまったらしく、立ってしまえば歩くことは出来た。

それでも夜の十時過ぎに電話が鳴ったとき、玄関の鍵を確認しに行っていた静子は居間に戻るのにいつもより時間がかかった。

① _____。

少し焦れたような尊彦の声だった。

いえ、戸締りを調べに玄関にいたものですから。

② _____。

酔ってらっしゃるの。

③ _____。仕事を持ち帰ってるんだ。変わりはないかね。

ええ、大丈夫。ただ外の水道がね、時々出たままなのよ。

水道屋を呼べばいいじゃないか。

それが、壊れたんじゃなくて、栓を締めれば止まるんですもの。

④ _____。

そうだと思うわ。この間から、おかしいなと感じてはいたんだけど。今日の午後ね――。

そんなことを告げるつもりはなかったのに、腰の心配で少し気が弱くなっていたせいか、静子は午後の出来事を電話口で話し始めた。

……後略……

(黒井千次「水泥棒」より)

問い 37. 傍線部①、②、③、④に入る尊彦の言葉を次から一つずつ選びなさい。

(2点×4=8点)

- A 変だね。誰かが使うのか
- B 広いお屋敷だからな。
- C 風呂だったのかい
- D とんでもない

問い 38. 「はずみに」と同じ意味の言葉は次のどれか。選びなさい。

(2点)

- A とたんに
- B ゆえに
- C なのに
- D ほどに

問い 39. 文中の「眼に見えている」の解釈として最も適当なのは次のどれか。

選びなさい。

(2点)

- A 見て明らかにわかる
- B 確実である
- C 目に入っている
- D はっきりわからせる

……前略……

ミロのヴィーナスを眺めながら、彼女がこんなにも魅惑的であるためには 両腕を失っていなければならなかったのだと、僕は、ふと①不思議な思いにとらわれたことがある。つまり、そこには、美術作品の運命という 制作者のあずかり知らぬなもののかも、微妙な協力をしているように思われてならなかったのである。

……中略……

ミロのヴィーナスは、言うまでもなく、高雅と豊満の驚くべき合致を示しているところの、いわば美というもののひとつの典型であり、その顔にしろ、その胸から腹にかけてのうねりにしろ、あるいはその背中のひろがりにしろ、どこを視つめていても、ほとんど飽きさせることのない均整の魔がそこにはたたえられている。しかも、それらに比較して、ふと気づくならば、②失われた両腕は、ある捉え難い神秘的な雰囲気、いわば生命の多様な可能性の夢を深々とたたえているのである。つまりそこでは、大理石でできた二本の美しい腕が失われたかわりに、存在すべき無数の美しい腕への暗示という、不思議に心象的な表現が思いがけなくもたらされたのである。それは確かに半ばは偶然の生み出したものであろうが、なんという微妙な全体性への羽搏きであることだろうか。その雰囲気に一度でも引きずりこまれたことがある人間は、そこに具体的な二本の腕が復活することをひそかに恐れるにちがいない。たとえ、それがどんなにみごとな二本の腕であるとしても。

……後略……

(清岡卓行『ミロのヴィーナス』より)

問い 40. 傍線①筆者がミロのビーナスを眺めながらとられた不思議な思いとは何か。文中の言葉で答えなさい。(2点)

問い 41. 傍線② 失われた両腕の魅惑的なところを文中から抜き出さなさい。(2点×4=8点)

- ① 例 とらえがたい神秘的な雰囲気
② _____
③ _____
④ _____
⑤ _____

五. 次の古文を現代口語訳しなさい。

42. うらうらに照れる春日に雲雀あがり情悲しも独りしおもへば。(大伴家持)
(5点)

43. 秋来ぬと目にはさやかにみえぬども風の音にぞおどろかれぬ。(藤原敏行)
(5点)

44. 竹取の翁、竹を取るのに、この子を見つけてのちに竹取るに、節を隔ててよごとに金ある竹を見つくること重なりぬ。かくて翁やうやう豊かになりゆく。
(「竹取物語」より)
(10点)